

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課	
		実施期間	S54～	E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	健康寿命					
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>救命医療体制の充実に不可欠である救命救急センターの運営状況は、慢性的な赤字状態にある。</li> <li>全県をカバーする広域救急搬送体制の確保のため、ドクターヘリの運航が効果的である。</li> <li>適切な救急医療を提供するためには、医療施設・設備の整備を行う必要がある。</li> <li>平成15年以降の救急救命士による処置範囲の拡大に伴い、その技術や知識の向上が必要である。</li> <li>東日本大震災や熊本地震等の課題を踏まえ災害時における医療体制の充実強化を図る必要がある。</li> </ul>
	<b>【目指す姿】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>救命医療体制及び災害時の医療提供体制の確保</li> </ul>
	<b>【実施内容】</b>
	主な実施内容：救命救急センター運営支援、ドクターヘリ運航経費助成、病院施設・設備整備経費助成、長野県DMAT養成研修 など

### 指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]

No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)		H30年度	R1年度
								前年度繰越	0	0	
1	救命救急センターの充実度評価A以上の割合	100%	100%→	100%→	100%	達成		予算額	現計予算	821,425	930,646
								合計(A)	821,425	930,646	
								うち一般財源	418,801	420,396	
2	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	187人	218人↗	256人↗	249人	達成		決算額(B)	789,913	866,020	
							職員数(人)	2.21	2.26		
3	長野県DMAT養成研修修了者数	274人	308人↗	350人↗	340人	達成					
4											

### 成果指標設定理由

- 救命救急センターの充実度評価A以上の割合：100%を維持  
※目標値：昨年度と同様の割合を設定
- 気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数：気管内チューブによる気道確保を行う際に必要な知識、技能を維持するため  
※目標値：31人増加（前年度実績に基づき設定）
- 長野県DMAT養成研修修了者数：大規模災害発生に備え、DMAT隊員の必要数を確保するため  
※目標値：32人増加（前年度実績に基づき設定）  
※DMAT：災害の急性期（概ね発災後48時間以内）に、県の要請を受けて被災地に出動し、医療活動を行う医療チーム

### 達成状況の分析

- 厚生労働省が実施する救命救急センター充実度評価の結果、全7施設中2施設がS評価、5施設がA評価となり、目標を達成した。
- 気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数は256人となり、目標を達成した。
- 県主催のDMAT養成研修を実施し、前年度を超える受講者を集めることができ、目標を達成した。

### 主な取組

#### ✓ 救急医療対策費施設・設備整備事業による救急医療機関への支援

- 病院群輪番制病院の施設・設備整備等の支援
- 医療施設等の耐震化又は補強等への支援 等

#### ✓ 災害医療体制の整備

- 地域災害拠点病院の追加指定(R2.3.25) … 相澤病院、長野市民病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院
- DMAT指定病院の追加指定(R2.3.25) … 長野市民病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院
- 県の災害・救急医療体制についての専門家による連絡会を開催(H31.4.12開催 ほか)
- DMAT体制整備のための連絡会を開催(R1.7.8開催 ほか) 等

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な医療救護活動のため、メディカルコントロール体制の充実強化や災害時におけるDMATなど医療チームの派遣体制の整備、関係機関間の連携強化などを図る必要がある。</li> <li>令和元年10月の台風第19号災害では、DMAT等が医療機関や介護施設の入所者を他の施設へ搬送したが、受け入れ先の確保や搬送方法等の取り決めがないため、調整に時間を要した。</li> </ul>	<p>消防職員を対象とした講習の実施や災害発生を想定した訓練の実施・支援、DMAT養成研修の充実などにより、引き続き、救急医療提供体制及び災害時の医療提供体制の確保を図っていく。</p> <p>災害時の避難や安全対策に万全を期すよう、広域圏ごとに関係者間のルールづくり等に取り組めるよう検討を進める。</p>

事業番号 05 02 02 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	救急緊急医療費損失補てん事業	2,363 千円	2,363 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	救急緊急医療費損失補てん事業	補助金	医療機関が救急医療を提供した結果、未収となった医療費に対して補助を実施した。（16病院124件）

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	広域災害・救急医療情報システム運営事業	39,827 千円	40,789 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	広域災害・救急医療情報システム費賃借料等	直接	システム賃借料や運営に係る県医師会への委託料等、必要経費を支出した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	長野県救急医療機能評価委員会運営事業	188 千円	247 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	救命救急センターの機能評価	直接	伊那中央病院及び飯田市立病院の現地調査を実施した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
4	救命救急センター運営費補助金	224,387 千円	218,270 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	救命救急センター運営費補助金	補助金	4施設の救命救急センターの運営を支援するため、補助金を支出した。

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
5	ドクターヘリ運航事業	498,578 千円	501,114 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	ドクターヘリの運航	補助金	ドクターヘリ運航に要する経費を助成するため、補助金を支出した。（2件 501,098千円）
2	電波利用料負担金	直接	ドクターヘリ運航に係る無線局の電波利用料を支出した。

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
6	救急医療対策費施設・設備整備事業		17,063 千円	81,349 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	病院群輪番制病院設備整備事業	補助金	病院群輪番制病院として必要な設備整備を行う2事業者(4施設)に対して補助を実施した。(17,626千円)	
2	医療施設等耐震整備事業	補助金	耐震補強のために施設の改修工事を行う1事業者(1施設)に対して補助を実施した。(63,723千円)	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
7	長野県メディカルコントロール協議会		3,246 千円	448 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	県メディカルコントロール協議会・分科会の開催	直接	県メディカルコントロール協議会を1回開催した。	
2	気管挿管再教育講習の実施	直接	気管挿管再教育講習を1回実施した。	
3	救急患者受入実態調査事業	直接	国から事業を委託された場合に実施する事業だが、令和元年度においては、事業を委託されなかった。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
8	災害医療体制整備事業		4,261 千円	7,193 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	災害・救急医療体制検討協議会等の開催・運営	直接	災害及び救急医療に関する事項について検討するため、DMAT分科会を2回、災害拠点病院連絡協議会を1回開催。なお、地域災害医療コーディネーター研修については、台風第19号災害対応等のため中止。	
2	災害医療研修会の実施	委託	災害時の医療活動に必要な知識を身に付けるために、災害医療研修会を2/29に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
3	長野県DMAT養成研修の実施	委託	大規模災害等が発生した場合に、迅速に被災地に向けつけて救急医療を行うチームを養成するために、長野県DMAT隊員養成研修を1回開催(11/23～11/24)	
4	各種訓練への参加	補助金	令和元年度総合防災訓練(大規模地震時医療活動訓練)への参加者に対し費用補助	
5	DMAT活動保険料	直接	長野県DMAT隊員として派遣される者に係る傷害保険料を支払	
6	災害時通信体制の整備	直接	災害時に迅速かつ適切な医療・救護活動を行うために、医療機関の稼働状況などの情報を収集するためのEMIS操作研修を2回開催したほか、衛星携帯電話(保健福祉事務所10台+県庁2台)の使用料を支払	
7	航空搬送拠点臨時医療施設(SCU)の運用体制の整備	直接	災害時に広域医療搬送等の拠点となるSCU用の医療機器について点検・交換を実施	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
9	国庫返還金		0 千円	14,247 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	国庫返還金	直接	H30事業における超過受入分の返還等	